

南海トラフ地震を想定したシミュレーション訓練 避難所体験会を実施します

阪神・淡路大震災から30年の節目にあたり、市と市民が協働で避難所運営体制を構築することを目的に、市民、市職員、関係機関などを対象とした避難所体験会を実施します。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、市民と市職員が一体となり避難所運営に取り組むのは、平成30年度以来です。今回は、参加者が実際に避難してきた避難者となり、発災直後に避難所で起こるさまざまなイベント(事象)を体験し、その場で対応策を考える、特色あるものになっています。

市は今後も、共助による防災活動を推進していきます。

1 開催概要

- (1) 日時 9月1日(日) 13時~16時半
- (2) 会場 市立末広小学校体育館(末広町3-1)



2 実施内容

参加者は、けが人や子連れなど多様な避難者の役割を与えられ、震災発生時に避難所のトイレが使えない、動けない妊婦がいるなど避難所で起こるイベントを体験しながらその対応策を考えます。また、体験後に今後の避難所開設や運営に生かすため、意見交換を行います。

3 参加者(約100人)

市内各まちづくり協議会、公募市民、関連団体、市職員

4 公募参加者募集

- (1) 応募方法 専用フォームまたは電話
- (2) 応募期間 8月2日(金)~8月16日(金)

<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1719896006266>



専用フォーム



市ホームページ

5 問い合わせ

総合防災課 TEL: 0797-77-2078(直通) 担当: 大芝・岩崎